

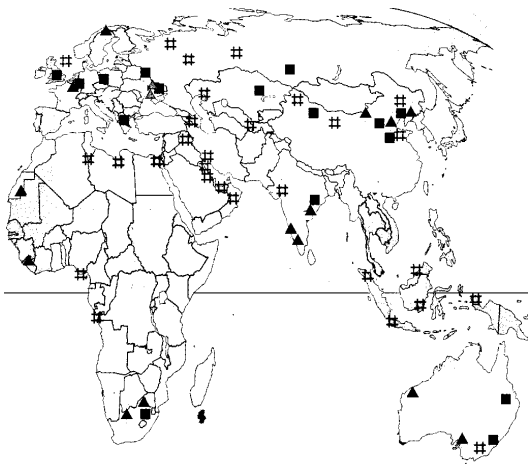
【FdData 中間期末：中学社会地理：資源】

[世界の資源・エネルギー]

[問題](1 学期中間)

地図中の▲，■，#に適する鉱産資源を次の
[]から1つずつ選べ。

[石油 石炭 鉄鉱石 銅]



[解答]▲：鉄鉱石 ■：石炭 #：石油

[解説]

[資源分布図 判断のポイント]

石油 : ペルシャ湾沿岸

石炭 : オーストラリア東部

鉄鉱石 : オーストラリア西部



世界の石油埋蔵量の約半分は、ペルシャ(ペルシア)湾沿岸を中心とする西アジアに集中している。

また、石油の生産量・輸出量ともにペルシャ湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。

鉱産資源の種類を答えさせる問題では、まず、ペルシャ湾沿岸に注目する。ペルシャ湾沿岸でとれる鉱産資源は石油である。

石炭と鉄鉱石については、日本の石炭・鉄鉱石の輸入

相手国第1位のオーストラリアに注目する。

オーストラリアの東部

では石炭が、西部では鉄鉱石が産出されることか



ら■が石炭，▲が鉄鉱石と判断できる。

石油，石炭，鉄鉱石の主要な生産国は次の通りである。

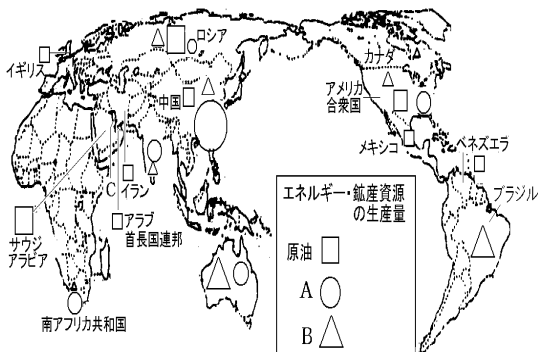
石油(2012 年)：ロシア(13.9%)，サウジアラビア(13.1%)，アメリカ(8.5%)，中国(5.5%)

石炭(2009 年)：中国(54.2%)，インド(9.7%)，アメリカ(8.6%)，オーストラリア(5.4%)

鉄鉱石(2011 年)：オーストラリア(21.3%)，ブラジル(20.0%)，ロシア(17.5%)，中国(9.0%)

[問題](1 学期期末)

下の地図を見て、後の各問いに答えよ。



(1) 地図中の A, B が示す資源名を次の[]から選べ。

[鉄鉱石 ボーキサイト 石炭 ウラン]

(2) 多くの石油が産出される, 地図中の C の湾名を答えよ。

[解答](1)A 石炭 B 鉄鉱石 (2) ペルシヤ湾

[解説]

地図で、A(○)の生産量が一番多いのは中国で、インド、アメリカ、オーストラリアの生産量も多い。このことから、Aは石炭と判断できる。

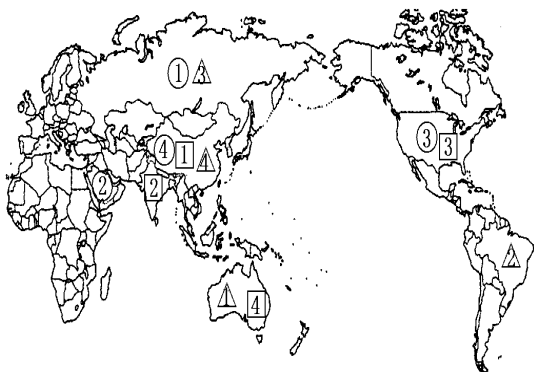
地図で、B(△)の生産量がとくに多いのは、オース

トラリアとブラジルであるので、Bは鉄鉱石と判断できる。

[問題](2 学期期末)

次の地図は鉱産資源の主要な生産国を表している。地図中の□、△、○の鉱産資源は何か。次の [] からそれぞれ選べ。なお、□、△、○内の数字は、それぞれの資源の生産順位を表している。

[石油 鉄鉱石 石炭]

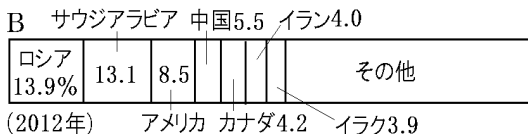
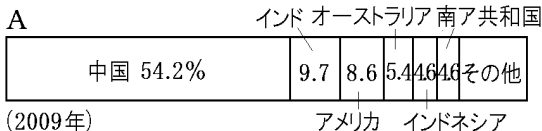


[解答] □ : 石炭 △ : 鉄鉱石 ○ : 石油

[問題](1 学期中間)

次の資料を見て、各問いに答えよ。

ある鉱産資源の生産割合



- (1) A, B は何という鉱産資源か。次の[]からそれぞれ選べ。
 [石油 ボーキサイト 鉄鉱石 石炭
 ウラン 銅鉱]
- (2) B の鉱産資源が多くとれる、西アジアにある湾の名を書け。
- (3) エネルギー消費量の増加によって起きている環境問題は何か。

[解答](1)A 石炭 B 石油 (2) ペルシャ湾(ペルシア湾) (3) 地球温暖化

[問題](前期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 地下に埋蔵されている有用な鉱物を指し、エネルギー源や金属などの原料として利用される鉱物を何資源と呼ぶか。
- (2) 石油の生産量が多い国が集中している地域を次の[]の中から1つ選べ。
[オセアニア アフリカ 西アジア
北アメリカ]
- (3) (2)の石油産出国を中心とした組織を何というか。アルファベットで書け。

[解答](1) 鉱産資源 (2) 西アジア (3) OPEC

[解説]

かつて、西アジアの
油田を開発したのは、

OPEC(石油輸出国機構)

メジャーと呼ばれるアメリカやイギリスなどの石油会社であった。メジャーは産油国さんゆこくに対してわずかな利権料りけんりょうを支払うだけであったので、産油国は貧しいままの状態に置かれていた。そこで、産油国はメジャーとの石油価格の交渉を有利に進めるため、1960年にOPEC(石油輸出国機構きこう)を結成し、70年代になると、石油産業の国有化や、価格の引き上げをおこなうようになった。

[問題](3 学期)

ハイテク産業に必要なニッケル・コバルト・マンガンなどの希少金属のことを何とというか。カタカナ 5 字で答えよ。

[解答]レアメタル

[解説]

ニッケル・コバルト・マンガン・クロムなどの希少金属をレアメタルという。IC(集積回路)などの原材料として用いられるため、近年、とくに注目されている。

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com